

(前回追加資料)

平成18年10月25日（水）

金融庁

CMS (キャッシュ・マネジメント・システム)について

CMSとは、一般的に、グループ企業の資金を一元的に管理し、資金調達や運用を効率的にするシステムのことを意味する。

CMSにおいては、主にCCP (セントラル・カウンター・パーティー)方式により、グループ企業間取引で一定期間に発生する債権・債務についてネットイングにより資金移動額の削減が行われている。

(注) CCPとは、債務引受等を用いて自ら債権・債務の当事者となることにより清算を行う者のことをいう。

このような処理を行う場合であっても、少なくともネット尻については資金移動があり、同期的管理が必要ではないか。

(参考) CCP(セントラル・カウンター・パーティー)について

